

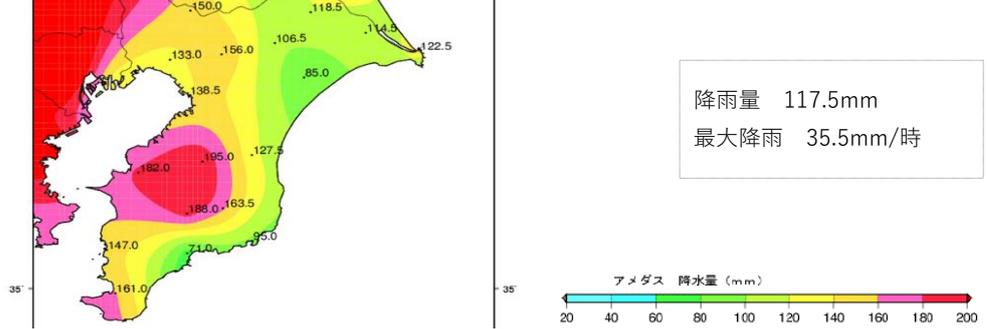
令和元年台風15号

【浸水原因】洪水、内水氾濫

【被害状況】床上浸水3件、床下浸水4件、避難所開設27箇所（26名）ほか

近年の浸水被害

(ア) 降水量分布図 (10月10日00時～10月13日24時)



【図1 降水量分布図】 出典：「令和元年房総半島台風等への対応に関する検証報告書 千葉県」（令和2年3月24日）

課題

- ・災害規模等に応じて開設する避難所を都度決定しており、迅速かつ適切に市民へ伝達するために、あらゆる手段で情報発信することとなるので、事前に情報の取得方法を周知する必要がある。
- ・講話や広報紙を活用し、垂直避難も含め、適切な避難方法やマイタイムラインの活用方法の周知に一層取り組んでいく必要がある。
- ・災害情報を発信する市メールサービスや公式アプリの登録の更なる推進が必要。

課題の解決策

【自助共助の強化・充実】

全ての自治会・町会での「自主防災組織」結成を目指し、防災活動が充実するよう積極的支援。

- ・世帯数に応じた、防災資機材購入費の補助金支給を行い、防災資機材の整備の促進。
- ・防災士及び災害救援ボランティア育成事業補助金を交付することにより、地域防災の担い手を育成し、地域コミュニティの活性化及び地域防災力向上の支援。
- ・自主防災組織では、市で作成したハザードマップや地区別防災カルテ等を見ながら、自主防災組織の活動範囲内で考えられる危険や対策をまとめた独自の防災マニュアルの作成を呼びかけている。

自助共助の取組

地区別防災カルテ 1. 宮本地区

○地区の構成
宮本1～9丁目
市場1～5丁目
東船橋1～7丁目
駿河台1～2丁目
東町

○地区の位置
宮本地区は、市の東南部に位置し、東は野田市に隣接する。
(地形) 東部は下総台地および砂丘が分布し、これに谷底低地が入り込む。地区の北西境界を流れる海老川沿いには広く低地帯およびその盛土が分布し、川の両岸は堤防の重要な防区域となっている。下総台地と低地の境界には、浸食による急傾斜地が存在する。(土地利用) 海老川沿いの低地帯、東船橋駅を中心に宅地化が進んでいる。
(交通) 南部には京葉道路、国道14号、京成線が横断し、東部には国道296号と主要地方道船橋鉄子線が縦断する。鉄道はJR総武線東船橋駅、京成線船橋駅馬場駅、京成線大塚下駅がある。

○地区の位置関係
地区面積 4,002km²
(船橋市全体の4.7%)

○社会条件
0～14歳 5,589人 13.6% (対地区)
15～64歳 27,897人 67.9% (対地区)
65歳以上 7,570人 18.4% (対地区)
(75歳以上) 3,519人 8.6% (対地区)
人口(合計) 41,056人 6.4% (対全市)
人口密度 10,259人/km²
世帯数(合計) 20,254世帯 6.9% (対全市)

○防災関連施設
避難所：船橋大禅堂、市場小学校、東町小学校、市立船橋南中学校、市立船橋南高等学校、東船橋中学校、宮本小学校
公民館：宮本公民館
児童遊園：宮本第一児童遊園、宮本第二児童遊園、六の倉児童遊園、船橋にゅーる児童遊園、安心の心児童遊園、あいの心児童遊園、宮本園、東船橋にゅーる児童遊園、ブルボン児童遊園、クワッパ児童遊園、まじの森児童遊園東船橋、らごの心児童遊園、東船橋色保児童遊園、恩賜協働園
学校：神台小学校、宮本小学校、宮本中学校、市立船橋南高等学校、市立船橋南中学校、市場小学校
公民館：宮本公民館
※津波一時避難施設については、**緑6**参照。
※高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設については、**別紙**参照。

○近年の災害履歴 (平成25年～29年)
水害 平成25年10月15日 台風26号 (床下浸水7戸)

南部 地域 地区名: 宮本 地区番号: 1

○災害予測の結果 (図)
＜千葉県北西部地下地震の場合＞
●想定される地震動の大きさ ●液状化の危険性

○建物被害推定結果 (半壊以上)
●水害・土砂災害の危険性 ●水害・土砂災害危険性分布図

○災害予測の結果 (概要)

項目	主要予測結果	危険度評価(一画)	概要
● 地震の揺れの強さ	平均震度6弱	強い揺れが予測されている	強い揺れが予測されている
● 液状化の危険性	低地で危険性が高い	低地を中心に液状化の危険性が高い	低地を中心に液状化の危険性が高い
● 建物被害	全半壊率27%	強い揺れの範囲を中心に建物被害が予測されている	強い揺れの範囲を中心に建物被害が予測されている
● 広域(全18時)	建物被害割合3.4%	地区の南側に広域の可能性が予測されている	地区の南側に広域の可能性が予測されている
● 人的被害(夜18時)	死者予測数363人	主に建物被害による負傷者が予測されている	主に建物被害による負傷者が予測されている
● 水害の危険性	低地を中心に高い	低地を中心に浸水被害が予測され、道路冠水事例も多い	低地を中心に浸水被害が予測され、道路冠水事例も多い
● 土砂災害の危険性	半壊以上予測割合が約5%	台地と低地の境界に懸崖地が多く分布している	台地と低地の境界に懸崖地が多く分布している
● 津波の危険性	浸水面積割合3%	京成線を境に南西部で危険性が高い	京成線を境に南西部で危険性が高い

【図2 地域別防災カルテ例】 出典：「船橋市地区別防災カルテ」（平成30年11月）

促進の工夫

自主防災組織のしおりを町会・自治会、マンション管理組合へ配布するとともに、災害時には協力して避難や救護を実践することができる、地域での防災活動のリーダーを育成するため、講師を招き、防災講話やグループワーク等を開催している。

自助共助の取組

令和3年度 自主防災組織のしおり



船橋市 危機管理課

目 次

自主防災組織の概要	1ページ
・自主防災組織とは	1ページ
・自主防災組織の役割	2ページ
・自主防災組織の組織	2ページ
・自主防災組織の活動	3ページ
・自主防災組織の役割	4ページ
・自主防災組織の活動	5ページ
・自主防災組織の活動	6ページ
補助制度の概要	8ページ
・補助金の種類	8ページ
・補助金の申請方法	9ページ
・補助金の申請方法	10ページ
補助金の申請方法・申請書類	11ページ
・申請書類の記入例	12ページ
・申請書類の記入例	13ページ
・申請書類の記入例	14ページ
・申請書類の記入例	15ページ
・申請書類の記入例	16ページ
・申請書類の記入例	17ページ
・申請書類の記入例	18ページ
・申請書類の記入例	19ページ
・申請書類の記入例	20ページ
・申請書類の記入例	21ページ
・申請書類の記入例	22ページ
・申請書類の記入例	23ページ
・申請書類の記入例	24ページ
・申請書類の記入例	25ページ
・申請書類の記入例	26ページ
・申請書類の記入例	27ページ
・申請書類の記入例	28ページ
・申請書類の記入例	29ページ
・申請書類の記入例	30ページ
・申請書類の記入例	31ページ
・申請書類の記入例	32ページ
・申請書類の記入例	33ページ
・申請書類の記入例	34ページ
・申請書類の記入例	35ページ
・申請書類の記入例	36ページ
・申請書類の記入例	37ページ
・申請書類の記入例	38ページ
・申請書類の記入例	39ページ
・申請書類の記入例	40ページ
・申請書類の記入例	41ページ
・申請書類の記入例	42ページ
・申請書類の記入例	43ページ
・申請書類の記入例	44ページ
・申請書類の記入例	45ページ
・申請書類の記入例	46ページ
・申請書類の記入例	47ページ
・申請書類の記入例	48ページ
・申請書類の記入例	49ページ
・申請書類の記入例	50ページ
・申請書類の記入例	51ページ
・申請書類の記入例	52ページ
・申請書類の記入例	53ページ
・申請書類の記入例	54ページ
・申請書類の記入例	55ページ
・申請書類の記入例	56ページ
・申請書類の記入例	57ページ
・申請書類の記入例	58ページ
・申請書類の記入例	59ページ
・申請書類の記入例	60ページ
・申請書類の記入例	61ページ
・申請書類の記入例	62ページ
・申請書類の記入例	63ページ
・申請書類の記入例	64ページ
・申請書類の記入例	65ページ
・申請書類の記入例	66ページ
・申請書類の記入例	67ページ
・申請書類の記入例	68ページ
・申請書類の記入例	69ページ
・申請書類の記入例	70ページ
・申請書類の記入例	71ページ
・申請書類の記入例	72ページ
・申請書類の記入例	73ページ
・申請書類の記入例	74ページ
・申請書類の記入例	75ページ
・申請書類の記入例	76ページ
・申請書類の記入例	77ページ
・申請書類の記入例	78ページ
・申請書類の記入例	79ページ
・申請書類の記入例	80ページ
・申請書類の記入例	81ページ
・申請書類の記入例	82ページ
・申請書類の記入例	83ページ
・申請書類の記入例	84ページ
・申請書類の記入例	85ページ
・申請書類の記入例	86ページ
・申請書類の記入例	87ページ
・申請書類の記入例	88ページ
・申請書類の記入例	89ページ
・申請書類の記入例	90ページ
・申請書類の記入例	91ページ
・申請書類の記入例	92ページ
・申請書類の記入例	93ページ
・申請書類の記入例	94ページ
・申請書類の記入例	95ページ
・申請書類の記入例	96ページ
・申請書類の記入例	97ページ
・申請書類の記入例	98ページ
・申請書類の記入例	99ページ
・申請書類の記入例	100ページ

【図3 自主防災組織のしおり】 出典：「船橋市HP」



【図4 リモートワークによる防災講話の実施状況】
出典：「船橋市立船橋高等学校 市船NEWS」（2021/12/21）

効果

- ・ 自主防災組織数（H28→R2）：511団体 → 539団体
- ・ 補助金制度を使用した防災士資格取得者数（H28→R2）：9人→26人
- ・ 補助金制度を使用した災害救援ボランティア受講者数（H28→R2）：4人→18人

情報伝達

- ・ 防災行政無線、ラジオ、テレビ、
- ・ ふなばし情報メール、公式LINE、Twitter、Facebook
- ・ 船橋市公式アプリ「ふなっぶ」等

補助制度

- ・ 自主防災組織補助金（防災資機材購入費）
- ・ 防災士及び災害救援ボランティア育成事業補助金

取組における懸念

- ・ 世帯数に応じて限度額が設定されており、発電機等の高額な資機材などを購入する際や、全世帯に防災資機材を配布したい自主防災組織への補助金額が不足している。
- ・ 現状、100世帯以下の自主防災組織の上限額が2万円となっているが、数世帯しかない場合も、100世帯の場合も、補助金が同額になっている。

今後の実施策

- ・ 千葉県によるコミュニティ助成事業があるが、市区町村から1件しか申請ができない。船橋市では自治会数が多く、助成を受けられる自治会を選定する必要がある。助成決定条件の緩和をすることで、自主防災組織補助金以外での補助金を増やせると良い。

参照

- ・ 防災ポータルサイト <https://www.city.funabashi.lg.jp/bousai/index.html>
- ・ ハザードマップ <https://www.city.funabashi.lg.jp/bousai/map/p009037.html>
- ・ 補助制度（自主防災組織補助金） https://www.city.funabashi.lg.jp/bousai/003/jijo_kvoujo/p044870.html
- ・ 補助制度（防災士及び災害救援ボランティア育成事業補助金） https://www.city.funabashi.lg.jp/bousai/003/jijo_kvoujo/p044599.html

問合せ先：船橋市 市長公室 危機管理課